

あますいビジョン実施計画(前期)進捗管理一覧表 R2年度決算

凡例 ○:「ビジョン目標を達成」 ○:「計画に沿って進捗している」 ●:「課題、調整事項はあるが、概ね計画に沿って進捗している」 △:「課題、調整事項があり、予定より遅れている」

取組み名称 及び ビジョン目標		進捗状況	R2年度取組み状況																								
直近の具体目標や目標値など																											
① 水道事業の施設のあり方			主管課：水道計画担当 関係課：浄水センター、経営企画課																								
概要:40年先を見据え、将来の投資や維持管理費用の縮減を図りつつ、神崎浄水場の配水機能の維持に必要な中央管理棟の改築や配水ポンプ棟の耐震化に取り組む。																											
よりきめ細かな設備の保全		○	<ul style="list-style-type: none"> 設備台帳の更新を完了したが、設備台帳のシステム化については神崎浄水場再整備工事(R7年度以降)に合わせて検討する。 将来的な配水場化を見据え、更新対象から除外した設備を対象に、故障の影響や代替部品の確保状況を整理した。 																								
<ul style="list-style-type: none"> 設備台帳の運用方針決定 効率的な維持管理の実施 																											
神崎浄水場の配水場化時期の決定		●	<ul style="list-style-type: none"> 阪神水道企業団(以下、「阪水」という)担当課長会議において、受水費にかかる費用負担の見直しに関する協議を行った。 																								
<ul style="list-style-type: none"> 分賦金制度の見直し協議 																											
神崎浄水場の配水機能の維持に必要な施設整備		○	<ul style="list-style-type: none"> R2年度に予定していた設備更新工事はすべて完了した。 																								
<ul style="list-style-type: none"> 配水機能の整備方針決定 配水機能の維持に必要な施設整備 																											
② 工業用水道事業の施設のあり方			主管課：水道計画担当 関係課：浄水センター、経営企画課																								
概要:50年以上経過している施設が大半となっており、ユーザー企業の使用廃止に伴う給水収益の減少が続いている状況である。他事業体と連携した施設のあり方の検討などを行い、工業用水の安定した供給の継続を目指す。																											
よりきめ細かな設備の保全		○	<ul style="list-style-type: none"> 設備台帳の更新を実施した(進捗率30%)。R3年度内の更新完了を目標に取り組む。 日常点検結果等をもとに見直しを実施した(一津屋吐出弁の更新を予算化)。 																								
<ul style="list-style-type: none"> 設備台帳の運用方針決定 効率的な維持管理の実施 																											
広域的な施設のあり方の検討		○	<ul style="list-style-type: none"> 阪水施設の利用について、課長級で1回、技術部会を3回、経営部会を3回開催し、関係五者間(神戸市、尼崎市、西宮市、伊丹市、阪水)で協議を行った。 																								
<ul style="list-style-type: none"> 猪名川浄水場(阪水)の余剰施設活用に向けた検討 																											
自己単独施設の計画的な更新・維持管理		○	<ul style="list-style-type: none"> 神崎浄水場の工水ポンプ1号は予定どおり更新した。江口受変電設備等更新に係る設計はR3年度に延伸する。 																								
③ 管路の計画的更新と維持管理			主管課：水道建設課 関係課：水道維持担当、水道計画担当、浄水センター、お客さまサービス課、経営企画課																								
概要:重要度・老朽度・耐震性の3つの観点から更新優先度を設定し、更新基準年数を基に更新規模の平準化を図るとともに、水需要の減少や地域バランスの変化を考慮した口径の見直しを行い、適切な更新を行う。工業用水道の配水管についても水道と同様に重要度・老朽度・耐震性の3つの観点から更新優先度を設定し、更新基準年数を基に更新規模の平準化を図るとともに、強度が低い材質の配水管を優先して更新していく。																											
水道事業 本管更新		●	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2(2020) 1,695m[554m]</th> <th>R3(2021)1,601m</th> <th>R4 (2022) 1,383m</th> <th>R5 (2023) 823m</th> <th>R6(2024)1,341m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前期計画</td> <td>1,695 / 6,843 25%</td> <td>3,296 / 6,843 48%</td> <td>4,679 / 6,843 68%</td> <td>5,502 / 6,843 80%</td> <td>6,843 / 6,843 100%</td> </tr> <tr> <td>前期実績</td> <td>554 / 6,843 8%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	R2(2020) 1,695m[554m]	R3(2021)1,601m	R4 (2022) 1,383m	R5 (2023) 823m	R6(2024)1,341m	前期計画	1,695 / 6,843 25%	3,296 / 6,843 48%	4,679 / 6,843 68%	5,502 / 6,843 80%	6,843 / 6,843 100%	前期実績	554 / 6,843 8%					<ul style="list-style-type: none"> 10号配水本管の更新は上下水道部全体で取組む必要があるため、8月の断水実施に向けた各課の分担を明確にする必要がある。 					
年度	R2(2020) 1,695m[554m]	R3(2021)1,601m	R4 (2022) 1,383m	R5 (2023) 823m	R6(2024)1,341m																						
前期計画	1,695 / 6,843 25%	3,296 / 6,843 48%	4,679 / 6,843 68%	5,502 / 6,843 80%	6,843 / 6,843 100%																						
前期実績	554 / 6,843 8%																										
<ul style="list-style-type: none"> 10年間で約100kmの配水管(本管)を更新 10号配水本管の更新(本市において最も口径の大きい配水管) 																											
水道事業 支管更新		●	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2(2020) 10,574m</th> <th>R3(2021) 9,786m</th> <th>R4(2022) 10,120m</th> <th>R5(2023) 10,120m</th> <th>R6(2024) 10,120m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前期計画</td> <td>10,574 / 50,720 21%</td> <td>20,360 / 50,720 40%</td> <td>30,480 / 50,720 60%</td> <td>40,600 / 50,720 80%</td> <td>50,720 / 50,720 100%</td> </tr> <tr> <td>前期実績</td> <td>8,258 / 50,720 16%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	R2(2020) 10,574m	R3(2021) 9,786m	R4(2022) 10,120m	R5(2023) 10,120m	R6(2024) 10,120m	前期計画	10,574 / 50,720 21%	20,360 / 50,720 40%	30,480 / 50,720 60%	40,600 / 50,720 80%	50,720 / 50,720 100%	前期実績	8,258 / 50,720 16%										
年度	R2(2020) 10,574m	R3(2021) 9,786m	R4(2022) 10,120m	R5(2023) 10,120m	R6(2024) 10,120m																						
前期計画	10,574 / 50,720 21%	20,360 / 50,720 40%	30,480 / 50,720 60%	40,600 / 50,720 80%	50,720 / 50,720 100%																						
前期実績	8,258 / 50,720 16%																										
<ul style="list-style-type: none"> 10年間で約100kmの配水管(支管)を更新 																											
工業用水道事業 配水管更新		●	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2 (2020) 600m</th> <th>R3 (2021) 800m</th> <th>R4 (2022) 250m</th> <th>R5 (2023) 500m</th> <th>R6 (2024) 400m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前期計画</td> <td>600 / 2,550 24%</td> <td>1,400 / 2,550 55%</td> <td>1,650 / 2,550 65%</td> <td>2,150 / 2,550 84%</td> <td>2,550 / 2,550 100%</td> </tr> <tr> <td>前期実績</td> <td>0 / 2,550 0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	R2 (2020) 600m	R3 (2021) 800m	R4 (2022) 250m	R5 (2023) 500m	R6 (2024) 400m	前期計画	600 / 2,550 24%	1,400 / 2,550 55%	1,650 / 2,550 65%	2,150 / 2,550 84%	2,550 / 2,550 100%	前期実績	0 / 2,550 0%					<ul style="list-style-type: none"> 詳細検討の結果、R2年度に単年度で予定していた路線がR3・4年度に施行することとなったため、ビジョン後半の更新予定路線の前倒しを行い進捗の改善を図る。 					
年度	R2 (2020) 600m	R3 (2021) 800m	R4 (2022) 250m	R5 (2023) 500m	R6 (2024) 400m																						
前期計画	600 / 2,550 24%	1,400 / 2,550 55%	1,650 / 2,550 65%	2,150 / 2,550 84%	2,550 / 2,550 100%																						
前期実績	0 / 2,550 0%																										
<ul style="list-style-type: none"> 10年間で約6kmの配水管を更新 ※新設を含み改良事業を除く 																											
維持管理点検計画に基づく管路点検		○	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理点検計画による点検頻度に基づき管路点検を実施した。修繕等の対策を要する施設はなかった。 																								
<ul style="list-style-type: none"> 管路点検を実施 																											
④ 配水ブロック化			主管課：水道建設課 関係課：水道計画担当、浄水センター、水道維持担当、お客さまサービス課、経営企画課																								
概要:市内を20のブロックに分割する配水ブロック化を行うことにより、災害時の断水範囲の局所化及び迅速な断水解消に効果を発揮する。また、市内20ブロックのうち、標高が比較的高く阪神淡路大震災の際に断水解消が最後となった北西部地域については、早期のブロック化に取り組む。																											
北西部地域(野間系統)ブロック化		●	<ul style="list-style-type: none"> R3年4月契約(工期R4年2月末 2度入札不調)。⇒R3年度下期に支管分離を行い、電動弁設置後に本管分離を行う(ブロック化完了をR4年度上期に変更)。 R3年度上期の6号本管通水後、野間ポンプ室の配水量・圧を変更する。 																								
<ul style="list-style-type: none"> 電動流調弁を設置しR3年度中のブロック構築を目指す 																											
大ブロック化		○	<ul style="list-style-type: none"> 3つの大ブロック化構築を完了したE3(南城内～杭瀬南新町)、F1(元浜町～平左衛門町)、F2(西向島町～東浜町)。 野間ブロックの完成時期変更に伴い、R4年度の大ブロック化予定か所のうち1か所をR3年度に前倒して実施する。 																								
<ul style="list-style-type: none"> 市内を20エリアにブロック化(R7年度完成予定) 前期は16ブロックを構築 			<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2 (2020) 37ブロック</th> <th>R3 (2021) 17ブロック</th> <th>R4 (2022) 37ブロック</th> <th>R5 (2023) 37ブロック</th> <th>R6 (2024) 37ブロック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体計画</td> <td>6 / 20 30%</td> <td>7 / 20 35%</td> <td>10 / 20 50%</td> <td>13 / 20 65%</td> <td>16 / 20 80%</td> </tr> <tr> <td>全体実績</td> <td>6 / 20 30%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	R2 (2020) 37ブロック	R3 (2021) 17ブロック	R4 (2022) 37ブロック	R5 (2023) 37ブロック	R6 (2024) 37ブロック	全体計画	6 / 20 30%	7 / 20 35%	10 / 20 50%	13 / 20 65%	16 / 20 80%	全体実績	6 / 20 30%										
年度	R2 (2020) 37ブロック	R3 (2021) 17ブロック	R4 (2022) 37ブロック	R5 (2023) 37ブロック	R6 (2024) 37ブロック																						
全体計画	6 / 20 30%	7 / 20 35%	10 / 20 50%	13 / 20 65%	16 / 20 80%																						
全体実績	6 / 20 30%																										
小ブロック化		○	<ul style="list-style-type: none"> 若手中心の検討部会を5回開催し、実施手順や検討方針を報告書として整理した。 R3年度は他ブロックにおける実施手順の検証や配水管理に関する検討を重点的に行う。 																								
<ul style="list-style-type: none"> 配水影響を考慮した水理検討による計画策定(R2～3年度) 山幹以北の7大ブロックを対象に小ブロック構築(R4～11年度) 																											
水圧監視機器の整備		●	<ul style="list-style-type: none"> 関係課で設置場所の協議を行った。大ブロック単位で水圧を監視する必要性や効果を検証した。 																								
<ul style="list-style-type: none"> ブロック内設置場所等の計画策定(R4年度から整備開始) 																											

あますいビジョン実施計画(前期)進捗管理一覧表 R2年度決算

凡例 ●:「ビジョン目標を達成」 ○:「計画に沿って進捗している」 ●:「課題、調整事項はあるが、概ね計画に沿って進捗している」 △:「課題、調整事項があり、予定より遅れている」

取組み名称 及び ビジョン目標		進捗状況	R2年度取組み状況						
直近の具体目標や目標値など									
⑤ 配水バランスの変更			主管課：浄水センター 関係課：水道計画担当、水道建設課、水道維持担当、お客さまサービス課、経営企画課						
概要:本市の配水は猪名川浄水場に機能が集中しているという課題がある。北西部地域を配水ブロック化することで各浄水場等からのポンプの圧力を変更し、尼崎浄水場から配水しているエリアを広げ、猪名川浄水場への機能集中の改善を目指す。									
配水圧の調整		●	<ul style="list-style-type: none"> 過去の配水実績を調査し、配水圧等の変更シミュレーションを完了した。 10号配水本管更新工事の1工区施工時の配水圧等を設定した。 						
<ul style="list-style-type: none"> 10号配水本管更新や野間ブロック化の配水影響を最小限に抑える 									
阪水の配水ポンプ能力の調整		●	<ul style="list-style-type: none"> 阪水と協議調整を行うとともに、阪水議会尼崎市側分科会においても早期対応を阪水へ要求した。 阪水は尼崎浄水場の配水ポンプ増強に係る詳細検討業務をR3年度に実施する。阪水からは3台に分けて順に増強する案が示唆された。 						
<ul style="list-style-type: none"> 10号配水本管更新スケジュールに合わせたポンプ能力の調整を行う 猪名川浄水場の機能集中を改善し阪水施設の安全度を高める 									
⑥ 水源水質の保全			主管課：浄水センター						
概要:淀川の水質は改善傾向にある一方で、水質事故は依然として発生しており、引き続き、これらの水質事故に対応していく必要がある。そのため、淀川から取水する水道事業体と連携して、水源水質の保全に取り組んでいき、早期の水質の異常を発見し、対応する。									
連携した水源水質の保全		○	<ul style="list-style-type: none"> 淀川水質協議会(9回)及び淀川水質汚濁連絡協議会(4回)に計13回参加した。 合同水源水質調査及び情報伝達訓練を3回実施した。 						
<ul style="list-style-type: none"> 各協議会への継続的参加 他事業体と連携した水源調査の実施や関係機関への要望 									
⑦ 水質管理の徹底			主管課：浄水センター 関係課：水道計画担当						
概要:今後も安全な水を届けるために適切な水質管理を行っていくとともに、市内配水量の8割以上を占める阪神水道企業団との連携を行うことで、さらなる水質管理の徹底を目指す。									
市内水質自動監視装置の配置の見直し		○	<ul style="list-style-type: none"> 元浜モニタの更新(移設)を実施した。 						
<ul style="list-style-type: none"> 水質自動監視装置の更新に合わせて配置を見直す 									
水安全計画の継続的な運用		●	<ul style="list-style-type: none"> 危害事象が3件発生したが、マニュアルに沿った対応を行い、水質異常を防止した。 推進委員会を1回、作業部会を3回開催し、危害事象の見直し等を行った。R3年度から飲用摂取制限時の対応について水安全計画内で検討を行う。 水道GLPIに関する内外精度管理や内部監査を実施した。R3年度はサーベイランス(中間審査)を受審予定(R3年10月頃)。 						
<ul style="list-style-type: none"> 水安全計画推進委員会で毎年改善、見直しを実施 水道GLPの運用 									
阪神水道企業団及び構成市間での水質データの共有		○	<ul style="list-style-type: none"> 最適化研究会のテーマの一つで「水質情報の共有化」が設定された。同研究会で各市が水運用の現状を報告し、情報共有と課題抽出を行った。 R3年度は水質データを阪神水道企業団及び構成市間で共有させる取組みを試行する予定である。 						
<ul style="list-style-type: none"> 水質データの共有化を推進させる 									
⑧ 直結給水の推奨と貯水槽水道の適正管理			主管課：水道維持担当 関係課：お客さまサービス課						
概要:衛生管理の促進のため、管理義務が定められていない小規模貯水槽水道の管理状況の現地確認を行う。現地確認の結果では、改善が必要な施設があるとともに、管理状況が未確認な施設もあることから、引き続き適正管理の啓発や情報提供等を行う。また、直結給水への推奨や、貯水槽内への長時間滞留のため残留塩素不足が懸念される施設への情報提供も行うことで、じゃ口から出る水道水の安全の確保を目指す。									
貯水槽水道から直結給水への切替推奨		○	<ul style="list-style-type: none"> R2年度は1,182件へ通知し、累計の通知済み件数は1,887件となった(達成率56%)。予定どおりR3年度に通知が完了する予定。 						
<ul style="list-style-type: none"> R3(2021)年度までにすべての施設(約3,400件)へ通知 啓発活動による管理状況未確認施設の50%削減 			年度	R2(2020)	R3(2021)	※R1(2019末)に705件へ通知済み			
			全体計画	—	100%				
			全体実績	56%		←R3は1,415件通知予定			
⑨ 鉛製給水管の解消			主管課：水道維持担当 関係課：お客さまサービス課						
概要:鉛製の給水管は、漏水が多いことや健康への影響も懸念されることから、解消に向けた取組が必要である。公道部においては取替工事を上下水道部で実施するなど解消に取り組み、水質の向上や漏水の改善を目指す。また、使用者へ鉛製の給水管の使用状況及び使用する際の注意事項などの個別通知による情報提供を行う。使用者への個別通知については、R6年度までに通知対応を行う計画であり、進捗状況によっては計画の前倒しも検討していく。									
公道部の鉛製給水管の解消		●	年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	561件/年
<ul style="list-style-type: none"> R10(2028)年度までに解消(取替工事で5,018件予定) (公道部全体の残存はR1年度末で8,770件) 			前期計画	561 / 2,805	1,122 / 2,805	1,683 / 2,805	2,244 / 2,805	2,805 / 2,805	20%
			前期実績	360 / 2,805					13%
			全体計画	561 / 5,018	1,122 / 5,018	1,683 / 5,018	2,244 / 5,018	2,805 / 5,018	11%
			全体実績	360 / 5,018					7%
使用者へ個別通知による情報提供		○	年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	6,000件/年
<ul style="list-style-type: none"> R6(2024)年度までに鉛製給水管使用の家庭へダイレクトメールを送付する(約60,000件) 			全体計画	6,000 / 59,600	15,600 / 59,600	30,000 / 59,600	44,400 / 59,600	59,600 / 59,600	10%
			全体実績	7,480 / 59,600					13%

あますいビジョン実施計画(前期)進捗管理一覧表 R2年度決算

凡例 ●:「ビジョン目標を達成」 ○:「計画に沿って進捗している」 ●:「課題、調整事項はあるが、概ね計画に沿って進捗している」 △:「課題、調整事項があり、予定より遅れている」

取組み名称 及び ビジョン目標		進捗状況	R2年度取組み状況															
直近の具体目標や目標値など																		
⑩施設や管路の防災対策			主管課：水道建設課 関係課：水道計画担当															
概要:浄水場の施設については今後も必要となる配水に係る施設の耐震化を進め、配水管については配水管網の幹となる基幹管路を優先し、耐震化を引き続き進めていく。また、医療機関や避難所等の重要給水施設に至る配水管(重要給水管路)については、優先的に耐震化する。これらの取り組みによって、施設や管路の耐震化を今後も引き続き適切に進め、地震などの災害による被害を最小限に抑えることが出来る水道施設の構築を目指す。																		
基幹管路の耐震化率(水道)		●	年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)					
全体計画				50.9%	51.9%	52.7%	52.7%	53.6%	54.0%	54.3%	54.5%	54.9%	55.2%					
全体実績				50.0%														
・R11(2029)年度までに55%			線越工事分を含めると、計画通りに進んでいる。															
基幹管路の耐震化率(工業用水道)		○	年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)					
全体計画				64.0%	64.4%	64.5%	64.7%	65.2%	65.6%	66.2%	67.3%	68.4%	69.5%					
全体実績				64.3%														
・R11(2029)年度までに69%																		
重要給水管路の耐震化率(水道)		●	年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)					
全体計画				65.4%	69.2%	70.1%	71.4%	74.1%	77.6%	80.9%	84.1%	87.4%	90.6%					
全体実績				64.5%														
・R11(2029)年度までに90% (但し被災確率の低い非耐震管路を耐震管とみなすと100%)			一部路線の前倒しにより、進捗の改善を図る。															
⑪ 応急給水拠点の充実			主管課：お客さまサービス課 関係課：水道建設課															
概要:既存の応急給水拠点に加えて、今後は避難所となる小中学校や地域振興センター等に近接する配水管と直結した応急給水栓を69か所整備し、応急給水拠点を充実させていく。停電や水質事故等により浄水場機能が停止した場合でも「市民の運搬距離1km」の確保を目指す。																		
応急給水栓(本管)をR3(2021)年度までに市内24箇所設置		●	年度	R2(2020) 11か所[8]		R3(2021) 8か所		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)						
全体計画				16	/ 24	67%	24	/ 24	100%									
全体実績				11	/ 24	46%												
・R1年度予定の5か所(うち2箇所はR2年度へ線越)を除く19箇所をR3年度までに整備			・R2年度はR1年度からの線越2か所を含む8か所を整備した。															
応急給水栓(支管)をR8(2026)年度までに市内45箇所設置		●	年度	R2(2020) 11か所[4]		R3(2021) 9か所		R4(2022) 6か所		R5(2023) 5か所		R6(2024) 5か所						
前期計画				11	/ 36	31%	20	/ 36	56%	26	/ 36	72%	31	/ 36	86%	36	/ 36	100%
前期実績				4	/ 36	11%												
全体計画				11	/ 45	24%	20	/ 45	44%	26	/ 45	58%	31	/ 45	69%	36	/ 45	80%
全体実績				4	/ 45	9%												
・ビジョン前期(R2~R6)年度で36箇所設置			・R2年度は4か所を整備した。															
⑫ 業務継続計画の運用			主管課：水道計画担当 関係課：水道建設課、水道維持担当、浄水センター、お客さまサービス課、料金担当、経営企画課															
内部研修及び訓練の実施		○	・検討部会を設置し、R2年12月に初の上下水道合同訓練を実施。訓練後は参加した職員へのアンケートにより課題を抽出した。 ・R3年度も全体訓練を実施予定(10月)。															
・各行動班がBCP個別行動計画に基づき訓練を実施 ・全体研修の実施																		
他事業体及び民間企業との訓練、協定の充実		○	・水道管路班にて民間企業4社と災害時の資材提供に関する協定を締結した。 ・R3年度に工水ユーザーとリスクコミュニケーションを実施する(災害リスクの説明、災害時必要水量の聴取り、自助に繋がる取組みの依頼など)。															
・災害時に必要な協定の抽出・整理 ・工水ユーザーとのリスクコミュニケーション																		
業務継続計画の改善、強化		●	・全体計画及び個別行動計画を見直し(組織改編に伴う名称変更等)、年度末に改訂した。 ・R2年度は飲用摂取制限時の手順素案を策定した。R3年度は汚染物質の評価や市民への事前周知手法などを検討する。															
・計画内容の継続的な見直し、改訂 ・水質異常時の飲用摂取制限時の対応手順を策定																		
⑬ 市民や地域との連携の充実			主管課：お客さまサービス課 関係課：経営企画課															
概要:広域的な大規模災害の際には、公助だけでは対応に限界があるため、今後は自助として水の備蓄の促進に加え、共助では地域で応急給水を実施していただけるよう、訓練などを通じて共助の取組を促進し、地域防災力の向上を図る。																		
水道水の備蓄の促進(自助)		○	・全戸配布のウォーターニュースやホームページ、転入者へは「家庭の水道・下水道」を使って啓発した。イベントは感染症予防のため実施なし。 ・R3年度も備蓄を啓発し、イベント(市民まつり)にてボトル水を配布予定。															
・水道水の備蓄をPR																		
応急給水拠点での訓練実施(共助)		●	・R2年度は5か所の応急給水拠点で訓練を実施した。その他、操作方法動画の案内や備蓄品の説明などを地域ごとに実施した。 ・R3年度もコロナ感染拡大の状況を踏まえつつ、訓練を実施する。															
・整備翌年度までに訓練を実施(目標15回/年) ・各拠点で4年に1回訓練を実施																		

あますいビジョン実施計画(前期)進捗管理一覧表 R2年度決算

凡例 ○:「ビジョン目標を達成」 ○:「計画に沿って進捗している」 ●:「課題、調整事項はあるが、概ね計画に沿って進捗している」 △:「課題、調整事項があり、予定より遅れている」

取組み名称 及び ビジョン目標	進捗状況	R2年度取組み状況
直近の具体目標や目標値など		
⑭ 経営の効率化 主管課：経営企画課 関係課：料金担当、お客さまサービス課		
概要：費用の約半分を占める阪神水道企業団への受水費については、猪名川浄水場の施設規模の見直しの機会を通じて負担軽減に取り組んでいく。 また、業務の効率化のために、料金徴収等を行う業務システムのリニューアルを実施するとともに、業務効率化に向けたICT・IoTを使ったの活用についても検討を行っていく。		
受水費の負担軽減	●	・R2年度は2部制導入及び神崎浄水場の増量運転によって年間約2億円の受水費を削減した。R3年度も引き続き、費用負担に関する協議を進める。
・分賦金制度の見直しに伴う受水費負担の協議		
業務システムのリニューアル	○	・業務システムの仕様はR3年5月に確定した。R3年10月からの新システム開発開始に向けて取り組む。
・RFIIによる業務システムの仕様確定		
ICT・IoTの情報収集、活用	●	・引き続き、他事業者や先進事例などから情報を収集する。
・スマートメーターの情報収集、調査研究 ・その他ICT・IoTの活用検討		
⑮ 広域連携・官民連携 主管課：経営企画課 関係課：水道計画担当		
広域連携に係る研究の継続	○	・R2年度は「水運用の一体化」をテーマとした最適化研究会を1回開催し、阪水構成市間で現状分析に情報共有を行った。 ・R3年度も引き続き協議を進め、阪神間全体にとって最適な水供給について研究する。
・阪水最適化研究会における検討の継続		
官民連携の事例研究、情報収集	○	・R2年度はPPP/PFIに関する研修に参加した。神崎浄水場再整備に係るPPP/PFI手法の検討に反映する。 ・AI管路劣化診断に関するメーカーへのヒアリングや水道標準プラットフォームに関する事例調査を行い、関係課間で情報共有した。
・PPP/PFI手法の検討		
⑯ 広報・広聴 主管課：経営企画課 関係課：水道計画担当		
イベントなどの広報活動の充実、工水ユーザー会議	○	・出前講座を1回実施した。イベントはコロナ感染のため実施なし。R3年度は市民まつりに合わせて上下水道部でブース出展予定。 ・水需要に関するアンケート調査に合わせて配布するためのチョロQを作成。アンケート結果を広報媒体へ反映させる。 ・工水ユーザー会議を2回開催(R2年7月とR3年3月)。R3年度は7月に開催予定。
・イベントなどで情報発信 ・アンケート調査の実施 ・工水ユーザー会議の実施		
⑰ 人材育成 主管課：企画管理課 関係課：経営企画課		
水道、工業用水道事業に精通した人材の育成	○	・R2年度は上下水道部を設立した。局研修を7件、派遣研修を29件実施した。
・組織体制の効率化、効果的な研修・人事交流の実施		
民間事業者の人材育成、技術確保	●	・引き続き、工事施工業者を対象に安全講習会、神崎浄水場において、運転監視業者と薬品漏洩緊急事態に対する訓練を実施した。
・効果的な取組みの策定、実施		